

令和 6 年度 第 5 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 2 月 1 3 日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件 名	足立区こども計画審議会の進捗状況及び今後のスケジュールについて						
所 管 部 課	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課						
内 容	<p>足立区こども計画審議会の進捗状況等について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 第 2 回足立区こども計画審議会の開催結果（令和 6 年 1 1 月 2 1 日開催）</p> <p>(1) 出席人数 17 名</p> <p>(2) 主な議題 基本理念案について ※事務局案 「生まれ育った環境に左右されることなく、子ども・若者が未来へつながる道を選べるアダチをつくっていく」</p> <p>(3) 委員からの主な意見 ア 基本理念案に「子ども・若者の将来像」と「区の基本的な方針」が混在しているのでわかりづらい イ 「生まれ育った環境に左右されることなく」は、子どもの貧困対策に重点を置いた「こども計画」とする足立区らしさを感じる ウ 子ども・若者に選択させるということは自己責任を伴う。選択するとなると、子ども・若者に責任を負わせることにならないか エ 「未来」だけではなく「今」幸せであることが重要 オ 子ども・若者の参画の視点が入っていない。“足立区は意見を聴いてくれそうだな”と感じさせることが重要 カ 常に子どもと一緒に（未来を）考えていく言葉は必要</p> <p>2 次回に向けた基本理念案 委員からの意見を参考に事務局が検討し、次回審議会に提案する。</p> <p>3 こども計画策定までのスケジュール（予定） 足立区こども計画審議会からの答申、パブリックコメントの結果を受け、令和 7 年度中に策定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予定時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～令和 7 年 8 月</td> <td>こども計画審議会での調査審議</td> </tr> <tr> <td>令和 7 年 9 月</td> <td>区長への答申</td> </tr> </tbody> </table>	予定時期	内容	～令和 7 年 8 月	こども計画審議会での調査審議	令和 7 年 9 月	区長への答申
予定時期	内容						
～令和 7 年 8 月	こども計画審議会での調査審議						
令和 7 年 9 月	区長への答申						

令和7年9月	パブリックコメント
令和7年11月	パブリックコメント結果 子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告
令和7年12月	こども計画 議会報告

4 今後の方針

- (1) 計画策定の参考とするため、子どもや若者などの当事者から直接意見を聴き、反映していく。
- (2) 足立区こども計画審議会における審議の進捗については、引き続き、子ども・子育て支援対策調査特別委員会において報告を行っていく。
- (3) 審議内容や答申をもとに、庁内作業部会において、こども計画に関して調査、研究を行うとともに、策定作業に取り組んでいく。

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

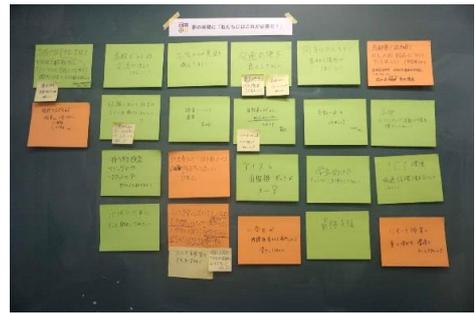
【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件名	「アダチ若者会議」の実施結果について																				
所管部課	あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課																				
内容	<p>若者から区の施策や要望について直接意見を聴き、区の若年者施策への反映を目指す「アダチ若者会議」の実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 概要</p> <p>(1) 公募型</p> <table border="1" data-bbox="448 860 1444 1167"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>高校生世代版</th> <th>大学生・社会人版</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日時</td> <td>令和6年8月4日</td> <td>令和6年9月6日</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td colspan="2">あやセンターぐるぐる</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>12名（申込は13名） ※大学生2名がファシリテーターとして参加</td> <td>9名（申込は11名） ※オンラインで1名参加</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="507 1220 863 1256" style="text-align: center;"> <p>【高校生世代版の参加者】</p>  </div> <div data-bbox="986 1220 1417 1256" style="text-align: center;"> <p>【大学生・社会人版の参加者】</p>  </div> </div> <p>(2) アウトリーチ型</p> <table border="1" data-bbox="448 1693 1444 2049"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月25日</td> <td>淵江高等学校（13名参加）</td> </tr> <tr> <td>9月27日</td> <td>青井高等学校（9名参加）</td> </tr> <tr> <td>10月4日～11月20日 ※各事業のスタッフがファシリテーター役となり若者から意見を聴いてもらった</td> <td>高校生世代の居場所型学習支援事業の2拠点 あだち若者サポートテラス（SODA）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	高校生世代版	大学生・社会人版	開催日時	令和6年8月4日	令和6年9月6日	会場	あやセンターぐるぐる		参加者数	12名（申込は13名） ※大学生2名がファシリテーターとして参加	9名（申込は11名） ※オンラインで1名参加	実施日	実施場所	9月25日	淵江高等学校（13名参加）	9月27日	青井高等学校（9名参加）	10月4日～11月20日 ※各事業のスタッフがファシリテーター役となり若者から意見を聴いてもらった	高校生世代の居場所型学習支援事業の2拠点 あだち若者サポートテラス（SODA）
項目	高校生世代版	大学生・社会人版																			
開催日時	令和6年8月4日	令和6年9月6日																			
会場	あやセンターぐるぐる																				
参加者数	12名（申込は13名） ※大学生2名がファシリテーターとして参加	9名（申込は11名） ※オンラインで1名参加																			
実施日	実施場所																				
9月25日	淵江高等学校（13名参加）																				
9月27日	青井高等学校（9名参加）																				
10月4日～11月20日 ※各事業のスタッフがファシリテーター役となり若者から意見を聴いてもらった	高校生世代の居場所型学習支援事業の2拠点 あだち若者サポートテラス（SODA）																				

【淵江高等学校での様子】



【青井高等学校での様子】



(3) オンライン型

実施日	実施方法
8月23日～11月30日	「きかせて!みんなのいけん」で意見を募集(オンライン) →回答数354件

2 若者から出てきた主な意見の傾向

(1) トークテーマ「夢の実現に私たちにはこれが必要だ!」

主な意見の傾向	
①	若者たちとの交流を望んでいる
②	資格取得や留学などにチャレンジするための費用補助
③	進学や職業選択の参考となる機会
④	夢を見つける手助けをしてほしい
⑤	若者たちの居場所

3 参加者の感想

- (1) 発言しやすい場で自分の意見をはっきり伝えられてよかった。
- (2) このような機会があること自体に大きい意味があると思います。属性がバラバラだからこそ、多くの気づきや共感が得られました。

(3) 自分ではなかなか思いつかない意見を知ることができて楽しかったです。自分の意見や考えを伝える場もなかなかないので、素敵な機会だなと思いました。

4 若者会議を通して見えてきたもの

(1) 年代や置かれた環境が異なるが、若者が区に求めている支援は類似していた（別添資料）。

(2) 若者が区に意見表明できる場や機会を求めていることがわかった。

今後、若者の要望を受けて、新たな支援策を検討していくとともに、意見表明の場や機会創出のために、引き続き「アダチ若者会議」を実施していく。

5 今後の予定

(1) 新たに策定する「こども計画」に活用していく。

(2) 区のホームページを通じて、実施報告をお知らせしていく。

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件名	足立区子ども施設指定管理者の評価結果について																		
所管部課	子ども家庭部 私立保育園課																		
内容	<p>子ども施設のうち指定管理者が管理する15施設の令和5年度業務について、足立区子ども施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、報告する。</p> <p>1 開催日時・会場 令和6年10月25日（金） 午前9時から午前11時まで 本庁舎南館13階 大会議室A</p> <p>2 主な業務内容 (1) 保育事業の実施に係る業務 (2) 施設の維持管理に関する業務</p> <p>3 評価対象期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>4 評価委員会委員構成（計6名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>氏名</th> <th>役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学識 経験者</td> <td>(会長) 田代 恵美子</td> <td>明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師</td> </tr> <tr> <td>柴田 幸基</td> <td>公認会計士・税理士</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関係団 体代表</td> <td>堀口 幸子</td> <td>足立区民生・児童委員</td> </tr> <tr> <td>松崎 颯治</td> <td>足立区青少年委員</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区職員</td> <td>岩松 朋子</td> <td>教育指導部長</td> </tr> <tr> <td>楠山 慶之</td> <td>子ども家庭部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 評価方法 (1) 担当課評価 提出資料の内容確認、指定管理者へのヒアリング、現地調査 (2) 評価委員会評価</p>	種別	氏名	役職等	学識 経験者	(会長) 田代 恵美子	明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師	柴田 幸基	公認会計士・税理士	関係団 体代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員	松崎 颯治	足立区青少年委員	区職員	岩松 朋子	教育指導部長	楠山 慶之	子ども家庭部長
種別	氏名	役職等																	
学識 経験者	(会長) 田代 恵美子	明治学院大学心理学部教育発達学科 非常勤講師																	
	柴田 幸基	公認会計士・税理士																	
関係団 体代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員																	
	松崎 颯治	足立区青少年委員																	
区職員	岩松 朋子	教育指導部長																	
	楠山 慶之	子ども家庭部長																	

提出資料の評価

6 令和6年度評価内容の改定について

令和5年度の評価委員会において委員からいただいたご意見等を踏まえて、以下のとおり改定を行った。

(1) 防災の取組

業務継続計画（BCP）の策定が「児童福祉施設の設備運営基準」において努力義務と明記されたため、従来の必須項目から加点項目に変更した。

(2) 事故への対応及び安全確保

令和5年度から安全計画の策定が義務化されたため、評価項目（必須項目）へ追加した。

(3) 小学校との連携

5歳児クラスのない園（青井おひさま保育園は0～2歳のみ在籍）について、小学校との連携について評価を行うことができず、従来は水準点である3点と採点していたが、他園と比べて低い評価となってしまうため、点数を他園の平均点となるよう変更した。

(4) 様式の見直し

指定管理者評価シートの担当課記入欄に、以下に該当する場合は「特記事項」として原則理由等を記入することとした。

ア 担当課評価で水準を下回る（2点又は1点）項目があった場合、その内容及び理由

イ 指定管理者評価と担当課評価で2点以上のひらきがあった場合、その内容及び理由

ウ 前年度の評価委員会評価で水準を下回る評価で、今年度の評価でも水準を下回る項目があった場合、改善策や経過等

(5) 評価項目の配点

以下の項目について、配点を見直した。

番号	項目	変更内容
7	事故への対応	「×2」→「×3」
10	職員の労働条件の保護	「×2」→「×3」
14	サービスの質の評価	「×1」→「×2」
32	安全確保	「×2」→「×3」
	合計点（満点）	「330点」→「350点」

7 令和5年度評価との比較

(1) 令和5年度から評価ランクが上がった園は4園あった一方、評価ランクが下がった園が1園あった。

(2) 千住保育園は、令和5年度から民営化されたことから、今年度から対象外とした。

(3) 新田さくら保育園は、令和4～5年度と2年続けて必要な資料の提出がなく、令和5年度は「評価不能」と判断したが、指定管理者が変更となり、資料の提出があったことから今年度は評価を実施した。

令和5年度			令和6年度 (5年度実績の評価)		施設名
A+	2園	⇒	評価対象外	1園	千住
		⇒	A+(現状維持)	1園	水神橋
A	7園	⇒	A+(1ランク上昇)	1園	新田おひさま
		⇒	A(現状維持)	5園	さつき、せきや、 青井、竹の塚、興本
		⇒	A-(1ランク下降)	1園	やよい
A-	4園	⇒	A(1ランク上昇)	1園	竹の塚北
		⇒	A-(現状維持)	3園	伊興大境、谷在家、 五反野
B+	2園	⇒	A-(1ランク上昇)	2園	東保木間、 青井おひさま
不能	1園	⇒	B+	1園	新田さくら

8 評価委員会での主な意見と対応等

	評価委員会からの意見	対応策
1	アレルギー児に対する食事の提供が保育者が付いていないなど、適切に実施されていない園が複数あった。独自のアレルギー対策でなく、マニュアルを遵守するよう指導すること。	実地調査の際に口頭で指導等を行ったが、再度文書指導した上で改めて現地調査を実施し、改善状況を確認する。
2	指定管理者の自己評価が低い園が複数あった。採点基準を基に評価点を付けていると思われるが、保育内容など適切に実施しているのであれば、それに準じた評価を付けるべき。	該当となる園に対し、評価委員会からの意見を伝えた上で、次年度の評価の際には基準に沿って適切に採点いただくとともに、今後明らかに低い点が付いている場合は、その理由を聴取する。
3	時間外労働が多い園について指導を行い、改善状況について確認すること。	該当の園に対し文書指導した上で、職員の増員など改善計画の提出を求め、その後の改善状況を確認する。

9 施設名称及び評価結果等（満点350点・評価点順）

No.	施設名称 指定管理料(円)	指定管理者 代表者名	評価点	評価点/満点 ×100(%)	前年度 評価	今年度 評価	比較
1	新田おひさま保育園 120,401,090	(福)太陽会 北守 正子	328	93.7%	A	A+	↑
2	水神橋保育園 197,043,781	(福)聖華 白須賀 まり子	315	90.0%	A+	A+	→
3	竹の塚保育園 185,002,990	(株)ベネッセイケア 滝山 真也	314	89.7%	A	A	→
4	せきや保育園 154,576,102	(福)桑の実会 濱野 賢一	313	89.4%	A	A	→
5	青井保育園 227,104,183	(福)からしだね 春見 静子	311	88.9%	A	A	→
6	興本保育園 191,953,115	(福)太陽会 北守 正子	309	88.3%	A	A	→
7	竹の塚北保育園 202,940,059	(福)三樹会 細野 智樹	306	87.4%	A-	A	↑
8	さつき保育園 237,189,778	(福)江北会 野口 澄夫	293	83.7%	A	A	→
9	伊興大境保育園 189,358,350	(福)高砂福祉会 篠塚 弘子	286	81.7%	A-	A-	→
10	やよい保育園 207,489,355	(福)博友会 川下 勝利	282	80.6%	A	A-	↓
	東保木間保育園 171,263,450	(福)高砂福祉会 篠塚 弘子	282	80.6%	B+	A-	↑
12	五反野保育園 220,687,475	(株)日本保育サービス 坂井 徹	278	79.4%	A-	A-	→
13	谷在家保育園 139,203,830	(福)わかば会 石川 美和子	277	79.1%	A-	A-	→
	青井おひさま保育園 95,317,037	ライクキッズ(株) 岡本 泰彦	277	79.1%	B+	A-	↑
15	新田さくら保育園 130,638,421	ライクキッズ(株) 岡本 泰彦	238	68.0%		B+	-

10 今後の方針

- (1) 今回の評価結果を指定管理者に説明し、今後の業務改善につなげていくよう指導する。また、指導内容については改めて現地を訪問し、改善状況を確認する。
- (2) 区ホームページに令和7年2月に掲載する。

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件 名	児童虐待防止推進月間の事業実施結果について													
所 管 部 課	こども家庭相談室 こども家庭相談課													
内 容	<p>こども家庭庁が毎年11月に全国的に行っている「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」にあわせ、足立区においても次のとおり児童虐待防止の啓発事業を行った。</p> <p>1 「児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン in あだち2024」 各駅頭にて民生・児童委員、児童相談所、警察の方々と一緒に児童虐待防止のチラシと啓発グッズを配布した。(全配布数2,525部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>場 所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月7日(木) 午前7時30～8時30分</td> <td>六町駅</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>11月8日(金) 午前7時30～8時30分</td> <td>北千住駅</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>11月9日(土) 午後2時～3時</td> <td>西新井 梅島 竹ノ塚 綾瀬 江北 各駅</td> <td>59名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 養育家庭体験発表会 養育家庭制度の周知と登録を促進するため、里親になっている方による体験発表会を行う。 (1) 日 時 11月16日(土) 午前10時～正午 (2) 場 所 こども支援センターげんき (3) 内 容 高校生女兒を養育した里母による体験発表・質疑 (4) 参加者 養育家庭制度に関心がある区民11名</p> <p>3 養育家庭PRパネル展示 里親など養育家庭の登録を促進するため、養育家庭制度について周知を行った。 (1) 期 間 11月12日(火)～15日(金) (2) 場 所 足立区役所1階アトリウム</p> <p>4 子育て交流講座「完璧な親なんていない」 1、2歳のお子さんの保護者を対象に、育児に対する不安解消と、育児スキルを高める講座「完璧な親なんていない」を開催した。 (1) 日 時 11月7日～12月12日の毎週木曜日 午前10時～正午 (2) 場 所 こども支援センターげんき (3) 参加者 9名</p>		日 時	場 所	参加者数	11月7日(木) 午前7時30～8時30分	六町駅	18名	11月8日(金) 午前7時30～8時30分	北千住駅	31名	11月9日(土) 午後2時～3時	西新井 梅島 竹ノ塚 綾瀬 江北 各駅	59名
日 時	場 所	参加者数												
11月7日(木) 午前7時30～8時30分	六町駅	18名												
11月8日(金) 午前7時30～8時30分	北千住駅	31名												
11月9日(土) 午後2時～3時	西新井 梅島 竹ノ塚 綾瀬 江北 各駅	59名												

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件名	こどもトワイライトステイ事業の終了について
所管部課	こども家庭相談室 こども家庭相談課
内容	<p>子育て短期支援事業の一つとして実施している「こどもトワイライトステイ事業」は、令和7年3月末で終了する。</p> <p>1 こどもトワイライトステイ事業の概要 保護者が就労その他の理由により平日の夜間に不在となり児童の養育が困難となった場合に、児童を預かり、支援を行う。</p> <p>2 終了とする理由 (1) 令和5年、6年度と事業実績がないこと (2) 類似事業（子ども預かり・送迎等支援事業）があること</p> <p>3 事業終了日 令和7年3月末で終了</p> <p>4 今後の方針 足立区ホームページや事業チラシ等に掲載し周知する。</p>

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件名	病児保育利用料金助成事業の終了について
所管部課	こども家庭相談室 こども家庭相談課
内容	<p>あだち子育て応援隊事業の一つとして実施している在宅での病児保育利用料金助成については、類似するベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）に一本化し、「病児保育利用料金助成事業」は令和7年3月末で終了する。</p> <p>1 病児保育利用料金助成事業の概要 区民がベビーシッター事業者の実施する在宅の病児保育サービスを利用した際、サービス利用1時間あたり1,000円を限度に助成する。</p> <p>2 終了とする理由 (1) ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）においては病児保育も対象としていること (2) ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）における助成額（1時間あたり2,500円）が病児保育利用料金助成事業における助成額よりも高いこと</p> <p>3 事業終了日 令和7年3月末で終了</p> <p>4 今後の方針 足立区ホームページや事業チラシ等に掲載し周知する。</p>

令和6年度 第5回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年2月13日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件名	足立区立学童保育室の指定管理者業務評価結果について														
所管部課	子ども家庭部 学童保育課														
内容	<p>足立区立学童保育室（なかよし学童保育室ほか15施設）の令和5年度業務について、足立区立学童保育室指定管理者等評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので報告する。</p> <p>1 評価委員会開催日・会場 令和6年10月10日（木） 午前8時40分から午後5時まで 本庁舎南館4階 401会議室</p> <p>2 主な業務内容 （1）学童保育事業の実施に関する業務 （2）施設の維持管理に関する業務</p> <p>3 評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日</p> <p>4 評価委員会委員構成（計4名）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種別</th> <th style="width: 30%;">氏名</th> <th style="width: 50%;">役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学識経験者等</td> <td>【委員長】 今井 康 晴</td> <td>東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授</td> </tr> <tr> <td>池部 彩 子</td> <td>社会保険労務士</td> </tr> <tr> <td>区民</td> <td>宮崎 保 子</td> <td>足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長</td> </tr> <tr> <td>区職員</td> <td>齊藤 ひろみ</td> <td>子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 評価方法 （1）担当課評価 提出資料の内容確認、指定管理者へのヒアリング、現地調査 （2）評価委員会評価 提出資料の評価</p>	種別	氏名	役職等	学識経験者等	【委員長】 今井 康 晴	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授	池部 彩 子	社会保険労務士	区民	宮崎 保 子	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長	区職員	齊藤 ひろみ	子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長
種別	氏名	役職等													
学識経験者等	【委員長】 今井 康 晴	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科准教授													
	池部 彩 子	社会保険労務士													
区民	宮崎 保 子	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会副委員長													
区職員	齊藤 ひろみ	子ども家庭部 子ども施設指導・支援課長													

6 令和6年度評価内容の改定について

(1) 主な変更内容

項目	変更前	変更後
担当課評価で水準を下回る項目があった場合の取扱い	<ol style="list-style-type: none"> 1 水準が下回る項目があっても特記事項に明確な記載はしていなかった。 2 評価委員会から全体を通して改善要望があった部分のみ改善状況の確認を行っていた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 特記事項に水準を下回る項目の<u>内容及び理由を明確に記載し、評価委員会で丁寧に説明のうえ評価をいただく。</u> 2 改善要望があった部分だけでなく、<u>水準を下回る項目についても</u>実地調査等で改善状況の確認を行う。
各項目の配点及び合計点	<ol style="list-style-type: none"> 1 項目別に配点の差を設けていたものの、その差が小さかった。 2 評価委員会の満点と指定管理者及び区担当課の満点が異なっていた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの命に関わる等<u>重要項目の配点を高くし、これまでよりも総合点に反映されるように修正する。</u> 2 <u>評価委員会の満点を指定管理者及び区担当課評価の満点にそろえる。</u>

(2) 評価項目の得点

番号	評価項目	変更内容
2	職員配置	「×2」→「×3」
15	日常生活の支援	
16	遊びの支援	
17	おやつを提供	
18	配慮を必要とする児童への対応	
4	施設・設備の安全性の確保	「×1」→「×3」
7	登室、保育中、帰宅等の安全対策と事故対応	

7 令和5年度及び令和6年度評価の比較

令和5年度		令和6年度 (5年度実績の評価)			施設名	
A	5室	⇒	A+	1ランク上昇↑	2室	せきや、東栗原
		⇒	A	現状維持 →	2室	しまねっ子、千寿
		⇒	A-	1ランク下降↓	1室	つぼみ

令和5年度		令和6年度 (5年度実績の評価)			施設名	
A-	3室	⇒	A	1ランク上昇↑	1室	なかよし
		⇒	A-	現状維持 →	2室	足立、亀田
B+	6室	⇒	A-	1ランク上昇↑	4室	さくら、中島根、新田学園、江北五色のさくら
		⇒	B+	現状維持 →	2室	さかえっこ、竹の塚
B	1室	⇒	B+	1ランク上昇↑	1室	新田学園第二

※ 評価が上がった学童保育室は8室、評価が下がった学童保育室は1室であった。

※ 鹿浜未来学童保育室は、令和5年度新設学童保育室のため、令和5年度と令和6年度の比較ができない。

8 評価委員会での主な意見

- (1) 手作りおやつの実施など前年度の改善要望を取り入れている。また、学校との関係が良好で連携が取れている。
- (2) 大規模な学童なので、円滑な運営のためには、保護者とのコミュニケーションが不可欠である。今後は、保護者との連携をより深める取り組みに期待したい。
- (3) 職員の特色を活かした独自の保育を行っている。また、本部が積極的に現場をサポートしているように感じる。
- (4) 正規職員が少ない中、児童の意見を取り入れた保育を行っている点は評価できるが、その分正規職員の負担が大きくなっていると思われる。本部には、今まで以上に現場職員が意見を言いやすい体制を整備していただきたい。

9 評価対象学童保育室および評価結果（満点270点・評価点順）

No.	学童保育室名	指定管理者	評価点	評価点/ 満点× 100(%)	今年度 評価	前年度 評価	評価
	指定管理料 (円)	代表者					
1	せきや学童 保育室	社会福祉法人 桑の実会	250	92.6%	A+	A	↑
	33,358,806	濱野 賢一					
2	東栗原学童 保育室	社会福祉法人 桑の実会	244	90.4%	A+	A	↑
	17,062,307	濱野 賢一					
3	しまねっ子 学童保育室	社会福祉法人 桑の実会	238	88.1%	A	A	→
	17,035,653	濱野 賢一					

No.	学童保育室名	指定管理者	評価点	評価点/ 満点× 100(%)	今年度 評価	前年度 評価	評価
	指定管理料 (円)	代表者					
4	千寿学童 保育室	社会福祉法人 桑の実会	236	87.4%	A	A	→
	17,028,440	濱野 賢一					
5	なかよし学童 保育室	株式会社明日葉	227	84.1%	A	A-	↑
	17,031,250	大隈 太嘉志					
6	鹿浜未来学童 保育室	株式会社セリオ	226	83.7%	A	/	/
	29,434,522	黒崎 泰司					
7	つぼみ学童 保育室	株式会社マミー・ インターナショナル	222	82.2%	A-	A	↓
	15,355,575	伊藤 勝康					
8	江北五色の さくら学童 保育室	エルシーワークス 株式会社	219	81.1%	A-	B+	↑
	16,749,073	岩田 陽介					
9	亀田学童 保育室	株式会社 プライムツーワン	217	80.4%	A-	A-	→
	49,574,369	佐藤 範夫					
10	さくら学童 保育室	株式会社明日葉	213	78.9%	A-	B+	↑
	49,500,156	大隈 太嘉志					
11	新田学園学童 保育室	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団	212	78.5%	A-	B+	↑
	16,819,646	平本 哲男					
12	中島根学童 保育室	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団	210	77.8%	A-	B+	↑
	16,748,834	平本 哲男					
13	足立学童 保育室	社会福祉法人 桑の実会	207	76.7%	A-	A-	→
	17,019,153	濱野 賢一					
14	竹の塚学童 保育室	株式会社 日本保育サービス	199	73.7%	B+	B+	→
	15,484,908	坂井 徹					

No.	学童保育室名	指定管理者	評価点	評価点/ 満点× 100(%)	今年度 評価	前年度 評価	評価
	指定管理料 (円)	代表者					
15	新田学園第二 学童保育室	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団	193	71.5%	B+	B	↑
	45,664,786	平本 哲男					
16	さかえっこ 学童保育室	労働者協同組合 ワーカーズコープ・ センター事業団	190	70.4%	B+	B+	→
	16,977,971	平本 哲男					

※ 鹿浜未来学童保育室は、令和5年度新設学童保育室のため、令和5年度（令和4年度実績）の評価は無い。

10 今後の予定

- (1) 今回の評価結果を指定管理者に周知し、今後の業務改善につなげていくよう指導するとともに、実地調査にて改善確認を行う。
- (2) 区ホームページに令和7年2月に掲載する。